

取り組むべきポイント概要

「社会減の流れ」を断ち切る！

【産業の創出】

◇若者の希望する業種の拡大につながるデジタル化・グリーン化をはじめとした成長企業の誘致やデジタル関連企業などのサテライトオフィスの誘致を推進する。

【企業の職場環境の充実】

◇各種手当の拡充など福利厚生の実現やワーク・ライフ・バランスの実現につながるテレワークなど、デジタルを活用した新しい働き方を推進することにより、県内企業の職場環境を充実し、若者や女性の就業につなげる。

◇若者の「キャリア形成」意識の高さに県内企業が対応するため、キャリアアップにつながるリスクリング・資格取得への支援の充実を図るとともに、優れた人材が能力を活かして活躍できるよう、副業・兼業の促進など、多様な働き方の推進も図る。

【企業情報の発信】

◇大学生の県内企業の認知度が非常に低いため、大学リーグやまぐちと連携し、県内企業の情報を行き届かせる取組を再点検し、強化を図る。

◇県内企業との出会いの場を提供する「やまぐちジョブナビ」の機能を学生の目線・ニーズに応じて強化するとともに、県内企業におけるやりがいや社会的意義などが十分に伝わるよう、情報発信へのアプローチを検討する。

◇県内の魅力的な企業の情報が若者に行き届くよう、デジタルネイティブな世代の志向を意識したSNS等の活用により、発信を強化する。

◇福利厚生やスキルアップにつながるキャリアモデルなど、就職活動者・学生が重視する情報を的確に届けるための取組を強化する。

◇スマート化が進んでいる製造業の労働環境等の現状を周知し、イメージギャップの解消を図るとともに、ものづくりの魅力や、将来性・安定性などの特徴を踏まえて、情報発信を強化する。

◇保護者や大学など学生へ強い影響を与える人への情報発信を強化する。

◇就職活動をしやすいWEB面接等のオンライン環境の整備を推進するなど、県内への就業促進につながる取組を強化する。

◇高校以前の段階からの地元企業を知る機会や体験する機会の拡大を図る。

【移住の促進】

◇より効果的な移住情報の発信強化に向け、オール山口でイメージを統一したPRやターゲットに即したPRを推進する。

◇デジタル技術も活用し、あらゆる機会を捉えて、暮らしやすさなどの本県の魅力情報を発信する。

◇若者・女性をターゲットとしてより効果的になるよう、大学卒業後に本県へ移住する学生への支援や対象地域の見直しなど、国の動きとも連携し、移住補助金等の対象・要件の検討を進める。

◇自然とアクティビティを融合したツーリズムの創出など、多彩な魅力を活かして交流人口を拡大するとともに、移住後の暮らしの魅力を想起させるPRのコンテンツとしても活用する。

◇少子化対策にも効果が期待できる子育て世帯への住宅支援の検討とともに、空き家の利活用への支援の検討を進める。

【次代を担う人材の育成】

- ◇大学 3 年生の事前認定テストの導入など、多様な人材を教員として取り入れるための工夫や改善を強化する。
- ◇デジタル技術も活用した業務の効率化、学校支援人材の活用など学校における働き方改革を推進する。
- ◇保育や幼児教育の充実に向けた県独自の支援を検討する。
- ◇乳幼児の育ちと学び支援センターによる、保育者や市町等からの相談への対応体制をさらに充実する。
- ◇子どもの頃から、山口県をふるさとと感じられる取組の更なる強化と、地域での学びや体験の充実に向けた、デジタルの活用や新たな手法・視点により取組等の検討を行う。
- ◇高校の特色を活かしながら、地域や社会との連携を強化する。
- ◇大学や地域団体等と連携して、デジタルによる地域課題解決の推進など、学生と地域をつなぐ取組を促進する。
- ◇県内進学率の向上に向け、学科再編など魅力ある大学づくりを支援する。
- ◇県立大学における保育士・養護教諭・看護師の養成など、人口減少克服に向けた人材育成を検討する。

「少子化の流れ」を変える！

【県独自の施策の構築】

- ◇結婚や子育てへのポジティブなイメージを実現できるよう、出会いや結婚応援、子育て支援の充実や男性の育休・家事・子育てへの参画が当たり前の社会の実現など、県独自のきめ細かな施策を更に大胆かつ積極的に構築する。

【出会いや結婚応援】

- ◇県内各地域での結婚支援の取組を更に拡充するため、やまぐち結婚応援センターと市町との連携による広域的な出会いの場の創出等とともに、デジタル活用による出会いの機会を増大する。

【妊娠・出産への支援】

- ◇不妊治療の支援や、不妊に悩む方をサポートする取組等を充実する。
- ◇やまぐち版ネウボラをはじめ、身近な場所で妊娠・出産、子育ての相談ができる、子育て家庭に寄り添ったきめ細かな伴走型の支援体制を充実する。
- ◇安心して妊娠・出産、子育てができるよう、母親の気持ちに寄り添った産前・産後ケアの充実を図るとともに、医療従事者の確保も含めた周産期医療提供体制の確保を進める。
- ◇SNS を活用したアプリの機能拡充等により、妊娠・出産等に関する相談支援体制を充実する。

【子育て支援の充実】

- ◇一時預かりや病児保育などニーズを踏まえた多様な保育サービスの充実を図る。
- ◇保育料の負担軽減等の県独自の子育て世帯への支援や、教育にかかる費用の負担軽減の検討を進める。
- ◇子育て世帯への住宅支援や教育にかかる費用の負担軽減についても検討を進める。
- ◇県が先頭に立って、「行政 DX・新たな価値を創出する働き方改革」や男性職員のまとまった期

間の育児休業取得を推進し、県内市町・企業等への普及を図る。

◇男性の積極的な育休、家事・子育てへの参加が当たり前の社会を実現する。

◇女性の正規雇用化や子育て後の社会復帰など、働きたいを応援し、男性の育児休業取得を推進する企業を支援する。

「住み良い地域社会」を創る！

【まちづくり・コミュニティづくり】

◇山口きらら博記念公園の交流拠点化に向けた整備や、賑わいのあるまちづくりなど、市町と連携し、民間活力も活用しながら、若者に魅力のある環境づくりを進める。

◇多様な人材がリアル・バーチャルに、様々な形で交流できるイベント等を活性化するとともに、コワーキングスペースや異業種交流の場等を核とした、若者が集い、つながる場づくりを促進する。

【地域交通の維持・活性化】

◇デジタル技術の活用による MaaS など、交通 DX の取組を加速するとともに、大学や市町との連携によるカーシェアリングシステムの推進、また、国の自動運転の推進に向けた動きにも的確に対応するなど、新たな手法による交通手段の整備に積極的に取り組む。

◇地方ローカル線やバス・タクシーなどの生活交通や日常生活に必要不可欠であるとの認識のもと、地域交通の維持・活性化に向けた取組を推進するとともに、自動運転など新たな手法による交通手段の確保への検討を進める。

◇2024年問題により、自動車運転業務従事者の確保がさらに必要となることも踏まえ、就職フェアやマッチングなど、担い手確保を強化する。